

小作争議調查表

No. 99

(月報番號第一三八號)

過	經	事項	原因	地主關係團體	關係人員	場所	發生	種類面積	關係團體
		土地返還要求	現地主親戚より前地主土地を以て移転し小作人河村平太郎親戚を以てその親戚を以て去村初太郎が小作人となりたるに因り	十	地主 新谷巴之助 小作人 吉岡初太郎	三瀨郡 蒲池村 大石高島	昭和十年六月十九日	田二反一畝二步	小作人 十
<p>小作人若岡は該田が元自己の所有田たるに係り土地以外を執着心と故土による生活力等感から土地引上り絶体及村を囑(地主は小作契約解除を指し加護争執争)とせしむる如公村長長け両者間も紛旋消停は努めたるが及んば修停して解決す</p>									

(昭和十年六月分)

財團 協調會 福岡出張所

備考	結果
	<p>油俵保額</p> <p>一 小作人の往來の小作料を十一月に賦償還すこと。但し毎年度賦未と併納すこと。</p> <p>二 賦未日筑紫村検査員に於て検査を了したる検査合格未は賦未期は毎年一月三十日までとす。</p> <p>三 賦未日金に換算し納付を要し得、且つ地主に於ては金に換算し受渡を要場合一月三十日筑紫村佐田組に於ての賣買價格とする。</p> <p>四 地主は土地引上りなきこと。</p> <p>五 小作人に於て前納米を滞りて場合何村にも土地引上りを得ざることを。</p> <p>六 此の場合不足の残額は一月に完納すこと。</p> <p>七 小作人は地上権の譲渡は絶対禁止すこと。</p> <p>八 今後賦償等につき納付減額を要求す場合日録入前小作人は地主に申立て双方互合の上議し列せしむること。尚之を解決不能は縣小作官又は村小作委員を以て消停を存せしむること。</p>